

4月20日（火）「第92回かながわ中央メーデー」記念式典が開催されました。

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターネット会場での実施となりましたが、記念式典については内容を簡略化し、規模を縮小して開催されました。

冒頭、主催者を代表して吉坂実行委員長（連合神奈川会長）に続き、副実行委員長として横浜地域連合から高橋議長が挨拶をしました。

高橋議長は「昨年の緊急事態宣言から辛い日々を過ごしてきた。安心して働けない、生活できないというこれま



でに経験したことのないことが現実として起きている。コロナ禍の影響でお亡くなりになられた方、闘病中の方、そして、仕事を失ってしまった方がたくさんおり、本当に悲しく辛いことである。一日でも早く、不安なく、不自由なく生活できるようになることを祈るのは勿論だが、横浜地域連合としても働く仲間の力になりたいと思っている。コロナ禍で様々な制約があるが、知恵と工夫で役割を果たしていきたい。一方で、コロナ禍によって、良くも悪くも大きな転機が訪れた。働き方を見直すきっかけとなったのは間違いない。今後、常態化されるニューノーマルが私たちにとって素晴らしいものになると信じている。」と思いを述べました。

来賓として林横浜市長があいさつをし、黒岩県知事からのビデオメッセージが流された後、メーデー宣言が読み上げられ、吉坂実行委員長の団結がんばろうで閉会しました。